

## 平成 28 年度 第 1 回大阪府立労働センターの運営等に係る外部評価委員会 委員から出された意見、要望等について

### 1. 平成 27 年度外部評価委員会での委員からの意見・要望を反映した取組み状況についてのコメント

- ギャラリーの利用拡大については、専用チラシの作成、市内カルチャーセンターへの訪問、「エルちゃん☆通信」での展示情報の掲載、紹介制度の導入など様々な取組みを実施してきているため徐々に効果が現れてきている。今後は既存の利用者以外に、高校生や大学生等の作品展示として利用していただけるような新たなマーケティング戦略も重要だと考える。
- 現在ギャラリーでは、許可なく物品販売ができないとのことだが、ギャラリー内で手作りの作品の販売を可能にするなど、今後は時代にあった対応も必要になってくるのではないかと考える。
- スポーツクラブやジムに通っているのは高齢者の男性が多い。ギャラリーについては健康志向の高い高齢者の男性を引き込むような仕掛け、例えば、山登りの後に山で撮影した写真の展覧会をギャラリーで開催するような、こちらから一歩踏み込んだ取組も考えてみてはどうか。

### 2. 平成 27 年度取組状況等についての委員からのコメント

- 年間を通して様々な事業を実施しており、取組の一つひとつが非常にきめ細かい。アンケートについては利用者満足度調査に加え、27 年度からはモニタリング調査も実施しているようだが、利用者の満足度を満たす要求は際限なく高まっていくため、できること、できないことを明確に示すことも重要である。
- 広報については Facebook に加え、若者が多く利用している Twitter や Instagram の活用を検討してみてはどうか。
- プチ・エルについては、ギャラリーと同様に利用促進の取組みが必要だと考える。プチ・エルの特徴であるスタインウェイピアノの設置を全面に押し出すとともに、ここ数年における平日と土日祝の利用の比較とスタインウェイピアノが競合する他の施設があるかなども調査する必要があるのではないかと考える。
- プチ・エルの時間貸し等の要望については、条例・規則等の改正が必要ならば、大阪府にニーズにあった条例・規則等の見直しをアピールすることも必要だと考える。
- 本館 1 階に設置している液晶ディスプレイによる催事の案内表示や南館とエル・シアターの行先を示した床面の表示は綺麗で分かりやすい。
- 南館の会議室を利用することがあるが、土・日・祝日は入居団体のフロアは施錠されていてトイレを利用することができず戸惑うこともあるため、利用できるトイレについて来館者への案内表示が必要と考える。